

[人文・社会] ご担当者様

11月25日出荷開始  
見計らい配本なし/ご注文数のみ出荷



dZERO ディーゼロ 11月新刊のご案内

解放から1年。ようやく語れることがある

# 戦爭取材と自己責任

安田純平＋藤原亮司

## 戦爭取材と自己責任

Yasuda Junpei & Fujiwara Ryoji

安田純平＋藤原亮司



武装組織による  
拘束から解放されて1年。  
今になって、ようやく  
語れることがある。

〈実行犯グループ〉はどれだったのか？  
〈身代金デマ〉はどこから出てきたのか？  
〈他罰的・不寛容な人々〉とはだれなのか？

3年4か月にわたる監禁に耐えた安田、  
友人の安否を気遣い、情報収集に奔走した藤原。  
紛争地ジャーナリスト2人の共同作業で解説する  
拘束事件、戦争、日本社会。

dZERO

▼2人は紛争地を専門とするジャーナリストであり、友人関係にある。

▼3年4か月にわたってシリアの武装組織に拘束された安田は、「身代金が支払われた」というデマや自己責任論によって容赦ないバッシングを受け、現在も「出国禁止」状態が続く。

▼一方の藤原は安田の拘束中、中東にも足を運んで安否情報の収集に奔走した。

▼安田の解放からちょうど1年。拘束事件の舞台裏、戦争の現実、バッシング社会について共同作業で向き合った。語り下ろし（対談）と書き下ろしで構成。

### 【目次】

はじめに 不寛容な社会で  
第一章 解放までの三年四か月  
第二章 紛争地のリアル

第三章 現在につながったできごと  
第四章 生業としてのジャーナリスト  
第五章 「自己責任論」と向き合う

第六章 デマ拡散時代の戦爭取材  
おわりに 「身代金」報道にこだわる理由

▼弊社刊行物は書店様との直接取引で出荷しております。物流と決済はトランスビューが代行いたします。都度請求（返品不可・送料元払い・郵便振替同梱）にも対応させていただきますが、簡単なお手続きで今すぐ継続的な直取引（返品可）が可能です。

▼取次経由（買い切り・返品不可）をご希望の場合は、八木書店を通じてご指定の取次に出荷いたします。

直取引代行  
トランスビュー

\*ご希望の出荷方法にチェックマークをお入れください

直取引（返品可。初めての書店様には小社よりご連絡いたします）

取次経由（返品不可）

● 書名：戦爭取材と自己責任 ● 著者：安田純平＋藤原亮司 ● 発売・出荷開始：2019年11月25日 ● 定価：本体1900円＋税 ● 判型・ページ数：四六並・240ページ ● ISBN：978-4-907623-27-2	ご注文数	貴店名
	冊	ご担当 様

ご注文→ FAX フリーダイヤル：0120-999-968

お問い合わせ (dZERO) → TEL: 043-376-7396 Email: info@dze.ro